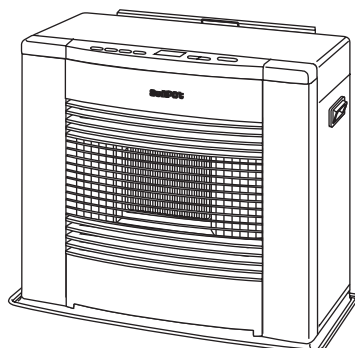
SUNPOT

サンポットガスFF暖房機

取扱説明書

型式
FFR-6007G
FFR-6007G-P

家庭用

●このたびはサンポットガスFF暖房機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
●お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよく読んで、ストーブを家族全員で正しくご使用ください。
なお、この取扱説明書は、保証書・設置工事説明書と共に必ず保存してください。

お客さまご自身による工事は危険です。設置工事は販売店にご依頼ください。（ストーブを移動させる場合も同じです。）

●この商品には保証書を添付しております。
保証書はよりよい製品つくりやアフターサービス向上に役立たせていただきますので、お手数ですが所定事項のご記入をご確認のうえ、必ず保証書控えをお買いあげの販売店にお渡しください。

サンポット株式会社

もくじ

特に注意していただきたいこと

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書には本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項が表示されています。
表示内容をよくご理解いただき、本文をお読みください。

●ここに示した事項は ⚠**危険**、⚠**警告**、⚠**注意** に区分しています。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

●イラスト(まんが)の横にあるマークは次のように表しています。

一般的な禁止

分解禁止

火気厳禁

マーク **禁止**

必ず行う

電源プラグを抜け

マーク **指示**

一般的な危険・警告・注意

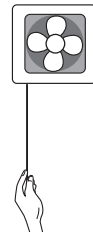
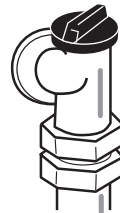
高温注意

マーク **注意**

特に注意していただきたいこと

⚠危険（DANGER）

ガス漏れ時使用厳禁

●ガス漏れに気付いたときはガス事業者(供給業者)の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、ガス栓とメーターのガス栓を閉じる。

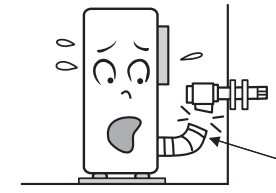
②窓や戸を開けガスを外へ出す。

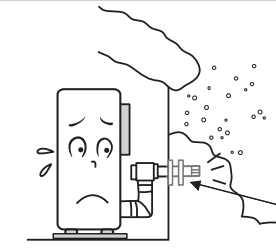
③もよりのガス事業者(供給業者)に連絡をしてください。

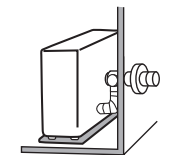
安全のために必ずお守りください

⚠危険（DANGER）

給排気筒(管・ホース)外れ危険

●給排気筒(管・ホース)が外れたまま使用しないでください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

給排気筒トップ閉そく危険

●給排気筒トップの周りがふさがれた状態で使用しないでください。
雪でふさがれているときは、除雪してください。
ふさがれていると運転中に排ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因になります。

屋内給排気厳禁

●屋内に排気すると排ガスが室内に充満して危険です。
必ず屋外に排気してください。

⚠警告（WARING）

指定のガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)以外使用厳禁

●機器の銘板に表示以外のガス種および電源で使用しますと、不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火や機器の故障の原因になります。
●転居された場合にもガス種(ガスグループ)および電源が一致していることを必ず確認してください。
●わからない場合はお買い求めの販売店、またはもよりのガス事業者(供給業者)に連絡してください。

この機器の銘板は本体右側面に貼ってあります

例：銘板（13A用）

お客様ご自身での設置工事・移動工事はしないでください

●機器の設置工事や移動工事は必ずお買い求めの販売店またはもよりのガス事業者（供給業者）に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。
ご自分で設置・移動工事をされ不備があると火災、一酸化炭素中毒、ガス漏れの原因になります。

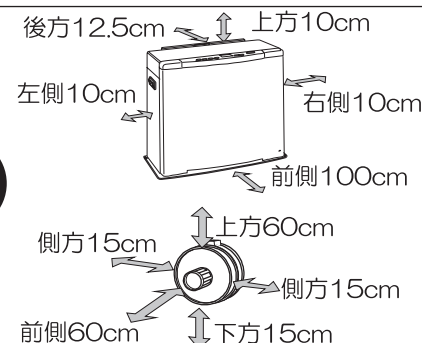
特に注意していただきたいこと

⚠警告（WARING）

ガス接続は専門業者に依頼してください（ガス管は規定の強化ガスホースか金属管接続が必要です）

●この機器はねじ接続です。ガス管接続工事には専門の資格、技術が必要です。必ずお買い求めの販売店またはもよりのガス事業者（供給業者）に依頼してください。正しく接続しないとガス漏れ、一酸化炭素中毒、火災の原因になります。

離隔距離の厳守

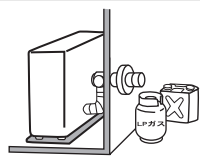
●機器の上や周囲に燃えやすいものを置くと火災の原因になります。
●給排気筒トップ周辺の障害物(壁など)と十分な離隔距離をとり、燃焼排ガスが滞留しない空間としてください。
不完全燃焼の原因になります。
●可燃物との離隔距離は、標準据付け図例(33〜34ページ)で確認してください。

カーテン・衣類など可燃物近接禁止

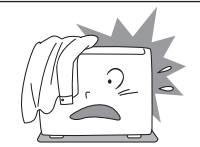
●カーテンや燃えやすいものを近づけないでください。
●衣類の乾燥など暖房以外の用途に使用しないでください。機器の過熱や火災の原因になります。

引火のおそれのあるもの使用禁止

●スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用している際は機器を使用しないでください。
引火、爆発の原因になります。

給排気筒付近の可燃物近接禁止

●給排気筒トップの近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのあるものを置かないでください。
火災のおそれがあります。

温風吹出口・空気吸込口をふさがない

●衣類・紙などで温風吹出口や機器後面部の空気吸込口を(フィルタ部)、ふさがないでください。
衣類や紙などでふさぐと火災の原因になります。

運転したままの外出・就寝は絶対しない

●運転したまま外出しますと、予期せぬ事故の原因になります。
●就寝されるときは、タイマー運転以外は使用しないでください。

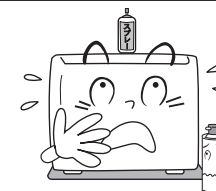
温風吹出口の前にギャラリ（格子）を取り付けない

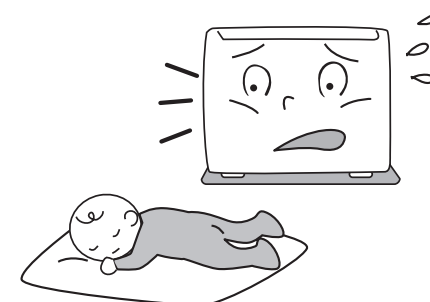
●火災の原因となります。

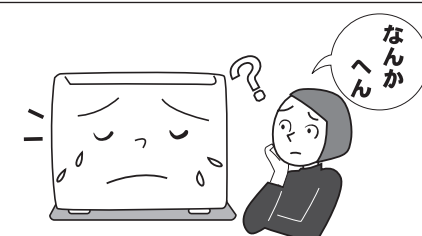
安全のために必ずお守りください

⚠警告（WARING）

スプレー缶厳禁

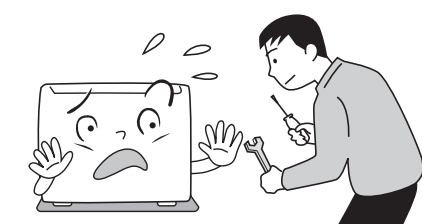
●スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを、ストーブの上や前に(周囲に)放置しないでください。
熱で缶内の圧力が上がり爆発して危険です。

温風に直接あたらない

●温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。また、体調悪化や健康障害の原因になります。
●比較的低い温度(40〜60℃)でも長時間温風にあったていると、低温やけどのおそれがあります。
特に乳幼児・お年寄・身体が不自由な方には付添いなしに使用しないでください。

異常時使用禁止

●点火しない場合、ご使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、または使用途中で消火する場合は運転を停止し、ただちにガス栓を閉めて使用をしないでください。
異常のまま運転を続けますと、爆発や火災の原因になります。
●異常を感じた場合は「故障・異常の見分け方と処置方法」(26〜29ページ)を参照してください。
●それでもおわかりにならない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

地震・火災など緊急時使用禁止

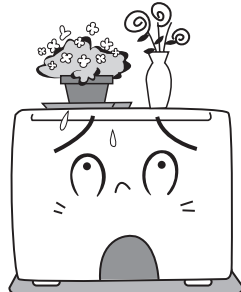
●地震、火災などの緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉めてください。

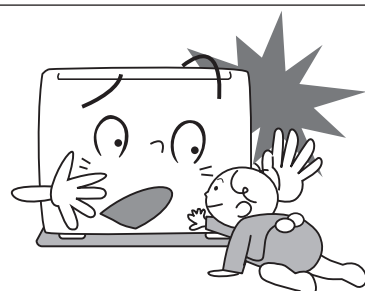
分解修理・改造使用の禁止

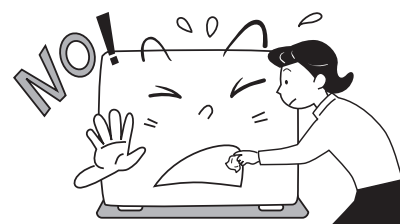
●故障・破損したら、使用しないでください。
不備があると感電や火災、一酸化炭素中毒の原因になります。
●改造して使用しないでください。
不備があると感電や火災、一酸化炭素中毒の原因になります。

特に注意していただきたいこと

⚠注意（CAUTION）

腰をかけたりものをのせない

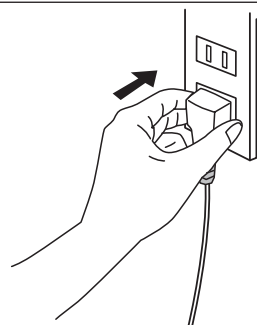
●ストーブの上にのったり、腰をかけたりしないでください。
ストーブの故障ややけどのおそれがあります。
●ストーブの上に花びんや水を入れたものを置かないでください。
水がかかると漏電や故障のおそれがあります。

高温部に注意

●燃焼中や消火直後は、前面ガード・温風吹出口などの他、排気管や給排気筒トップは高温になっておりますので手などをふれないでください。
●特にお子さまをストーブや給排気筒トップに近づけないでください。
保護ガード(関連部材)をおすすめします。

指や異物を入れない

●ガード内や温風吹出口、空気吸込口に指や異物を入れないでください。
ケガや火災のおそれがあります。
●特にお子さまのいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷めない

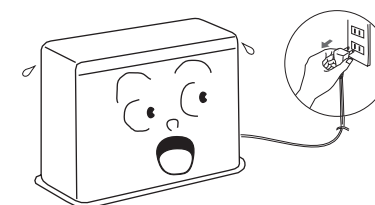
●電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。また、電源プラグを抜くときには、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

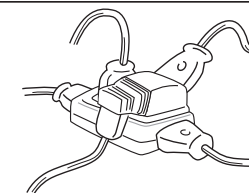
電源プラグは確実に差し込む

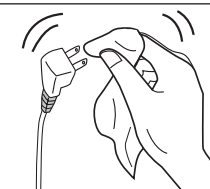
●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。
●ぬれた手での抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

安全のために必ずお守りください

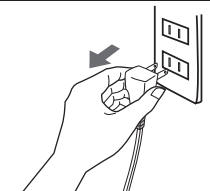
⚠注意（CAUTION）

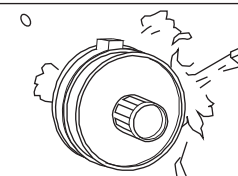
電源プラグによる消火禁止

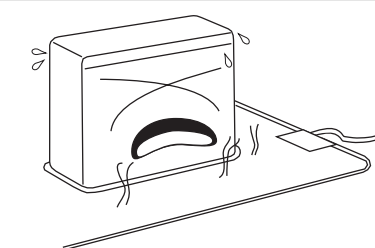
●電源プラグを抜いて運転を停止しますと感電・火災・過熱の原因になります。

許容電力以上の使用禁止

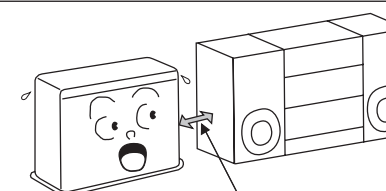
●コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外では使用しない。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのお手入れをする

●ときどきは電源プラグを抜き、ほこり(及び金属物)を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

●長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予期しない事故の原因になります。

給排気筒トップにホースなどで水をかけない

●機器内に水が入ると感電・故障の原因になります。

温水マットなどの上に設置しない

●温水マットや電気カーペットの上に設置しないでください。機器の重みで温水マットや電気カーペットが故障する原因になります。
また、温水マットや電気カーペットの熱で機器が正しく制御しないことがあります。

ラジオなどから離す

●ラジオ・ステレオなどを近くで使用する場合は、雑音が入る事がありますから、離して使用してください。

特に注意していただきたいこと

⚠注意（CAUTION）

特殊な場所での使用禁止

●ストーブは一般家庭の居室の暖房用につくられたものです。クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所で使用しないでください。
化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。
●乾燥室・温室・飼育室などでは絶対に使用しないでください。
植物が枯れたり、動物が死亡する場合があります。
●業務用として使用されますと著しく機器の寿命が短くなります。

高地注意

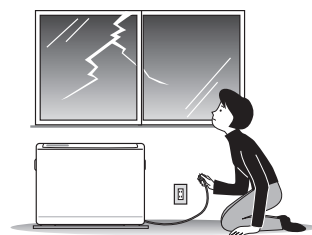
●標高1000m以下で使用ください。
それをこえて使用する場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
そのまま使用しますと、空気不足になり、異常燃焼の原因になります。

排気管の延長時の注意

●排気管を1m以上延長する場合は、ストーブ内の調節が必要となります。（設置工事説明書参照）お買い求めの販売店にご相談ください。
そのまま使用しますと、空気不足となり、異常燃焼の原因になります。

お願い（NOTICE）

雷時の注意

●雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
雷による一時的な過電流で電子部品が損傷する場合があります。
●使用中に電源プラグを抜きますと機器が過熱して故障の原因になる場合がありますので、雷が近づく前に運転を停止して、対流ファンが止まってから抜いてください。

●ガラスには水をかけたり、衝撃をあたえたりしないでください。
ガラスが割れて危険です。

●ストーブ前面付近は、ふく射熱が強いので熱に弱いものを置いたり、敷いたりしないでください。
変色や変形したりすることがあります。

使用する場所

ストーブを安全に使用するためには、場所の選定が大事です。
場所の選定は「据付け場所の選定及び標準据付例」の項をお読みください。
（33～34ページ参照）

■効果的に使用するため

●冷たい外気に接する窓ぎわや壁側に据付けると、冷気が暖められて対流しますので効果的です。
●ストーブの前方に障害物があると、部屋の温度にむらができる原因になります。

次の場所では使用しないでください。火災や予想しない事故の原因になります。

●水平でない場所、不安定な場所
●不安定なものを乗せた棚などの下
●可燃性ガスの発生する場所又はたまる場所
●付近に燃えやすいものがある場所
●階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
●温室、飼育室など人のいない場所

機能と特徴

■ＦＦタイプ
燃焼に必要な空気を室外から取り入れ、燃焼後の排ガスを室外へ出す方式(ＦＦ式)ですからクリーンな暖房です。

■簡単操作
点火・消火は、運転スイッチを押すだけのワンタッチ操作です。
(１６～１９ページ参照)

■固定運転機能
設定温度を「Ｌｏ」または「Ｈｉ」にすると、火力を自動的に調節せずに最小または最大火力で燃焼し続けます。
(18ページ参照)

■設定室温や時刻を記憶します。
停電しても記憶しています。(3分間)

■ふく射暖房
ふく射により効果的に暖房感が得られます。また、火力が小さくなるにつれて温風量も少なくしていきますので、温風の不快感を感じることなく快適な暖房感が得られます。

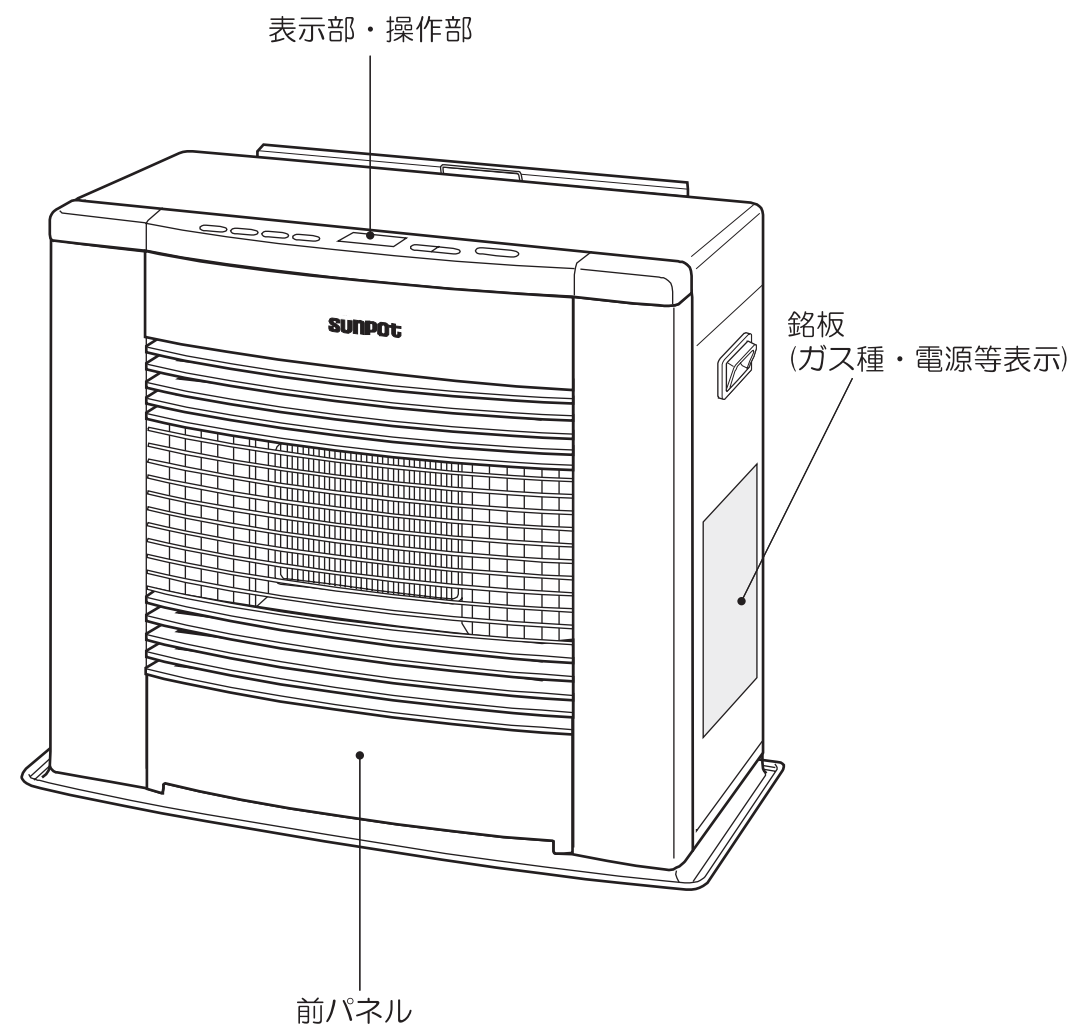
■室温を適切にコントロール
お部屋の温度を、お好みの室温に設定すると火力を自動的に調節してお部屋を暖めます。
※お部屋の温度が設定温度に達しても消火しません。
(１７ページ参照)

■セーブ運転機能
セーブボタンを押しておけば、現在室温が設定室温より約2℃上昇すると自動的に消火し現在室温が設定室温まで下がったら自動的に点火します。暖めすぎを抑えます。
(２２ページ参照)

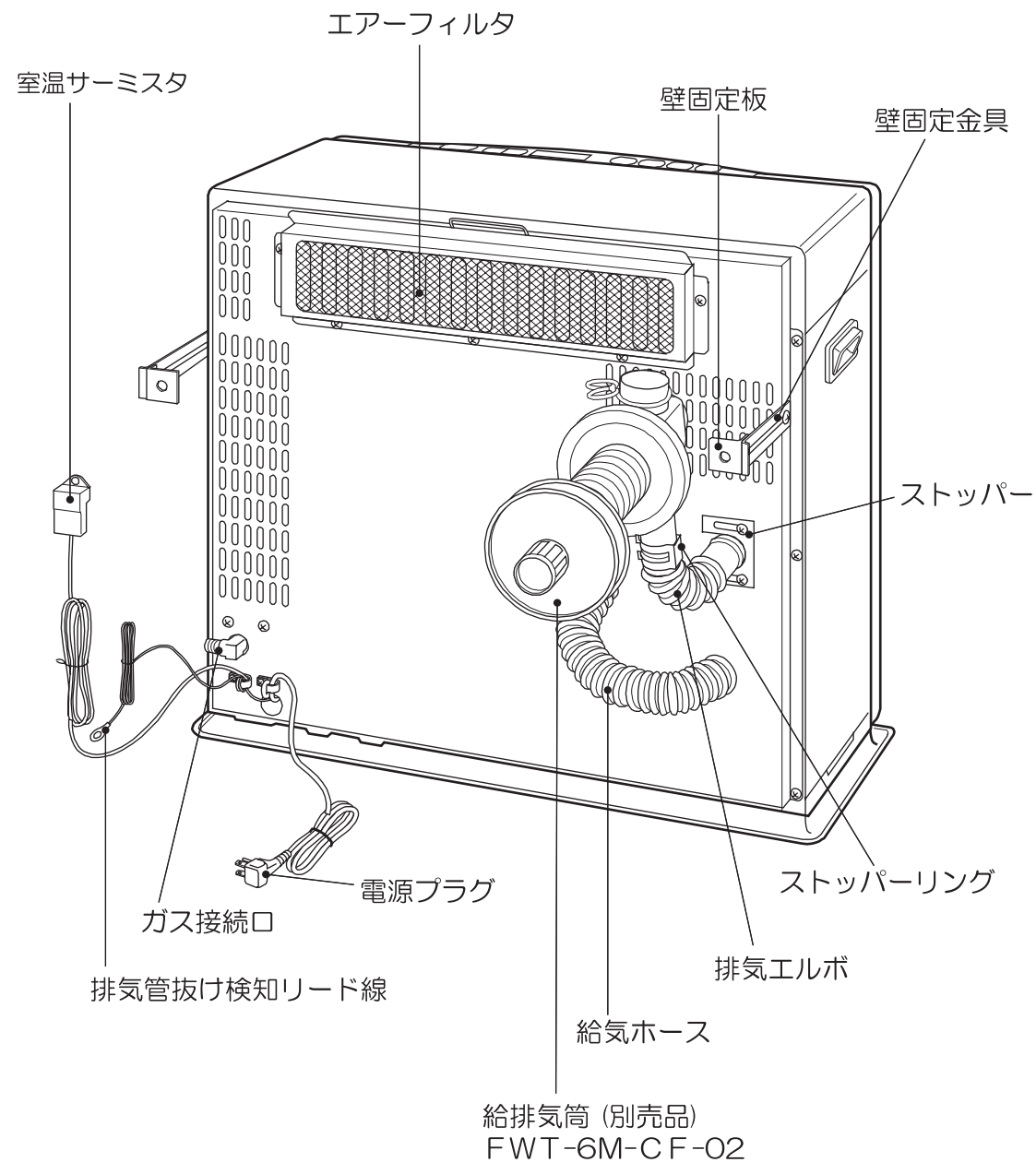
■タイマー運転機能
希望の時刻に運転を開始します。２４時間デジタル表示でセットできます。
(２０～２１ページ参照)

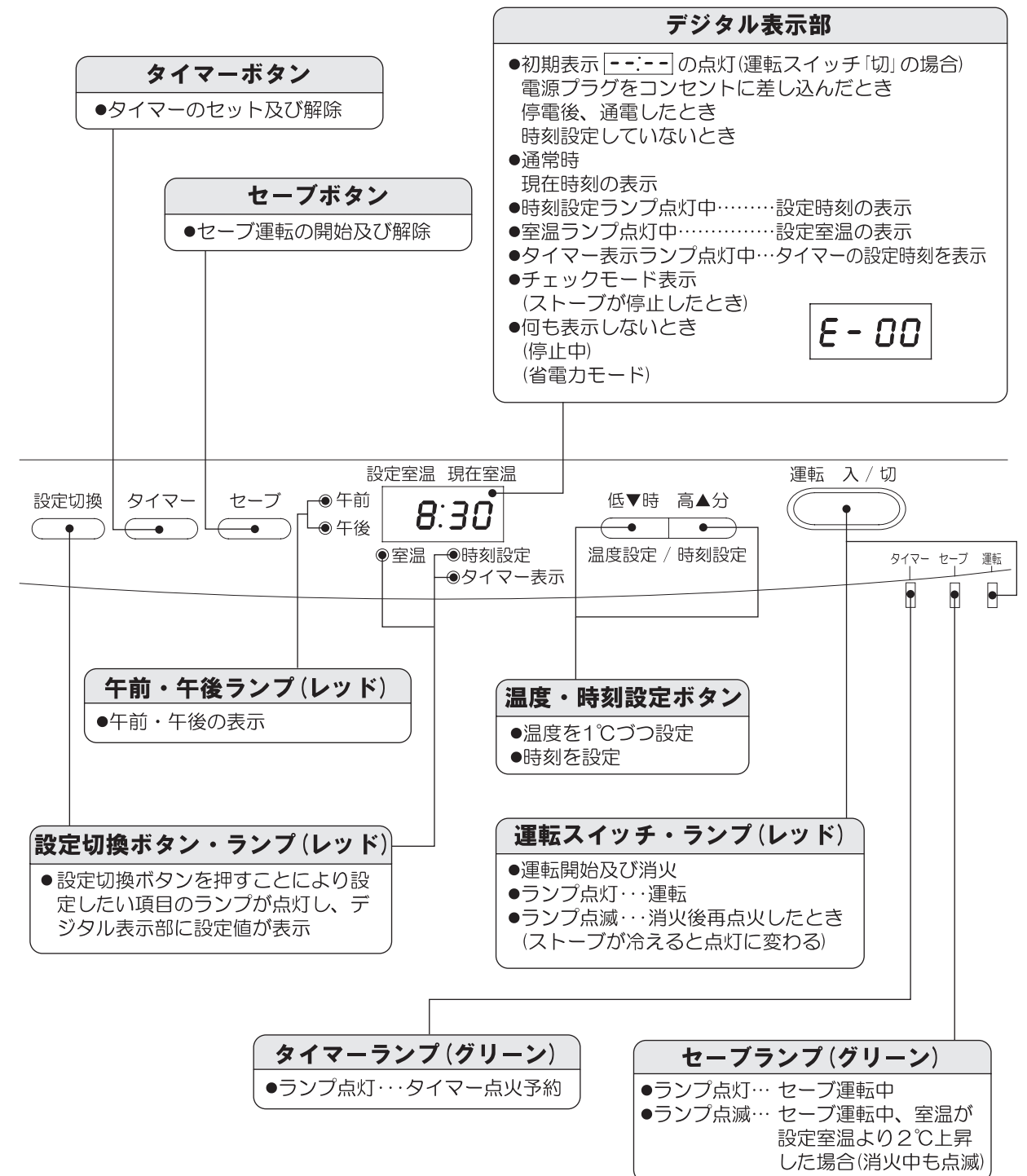
各部のなまえ

■外観図

【正面外観図】

各部のなまえ

■外観図

【背面外観図】

各部のなまえ

■表示部・操作部

使用前の準備

お使いになられるときは必ず２～９ページの「特に注意していただきたいこと」をお読みの上、安全な状態でご使用ください。

■点火前の準備と確認

1 ガス種・電源の確認

●ガス種・電源(電圧・周波数)は機器右側面の銘板に表示してあります。

例：銘板（13A用）

⚠警告

●機器に表示してあるガスと使用するガスの種類が合っているか確認してください。
●電源、電圧がＡＣ100Ｖ(50/60Ｈｚ)であることを確認してください。

2 電源コード及び電源プラグの確認

●電源プラグをコンセントに差し込み接続してください。

⚠注意

●電源コードの引き回し部分が放熱(排気管の放熱など)を受けない所にあるか確認してください。

3 給気ホース(給気管)・排気管の接続の確認

●給気ホース(給気管)・排気管が正しく接続されているか確認してください。

⚠危険

●外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、大変危険です。

4 ストーブの周囲の確認

●ストーブの周辺及び給排筒トップの周囲に引火物や可燃物がないか確認してください。

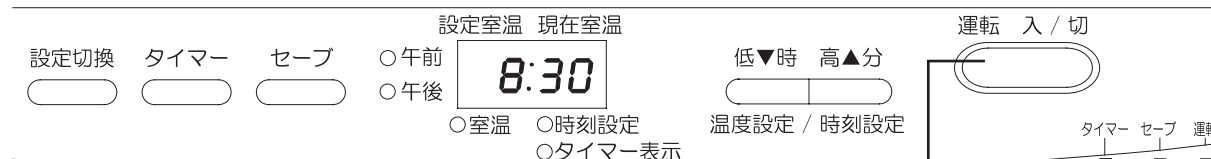
⚠警告

●スプレー缶やガソリンなど引火物や可燃物があると火災や予想しない事故が発生するおそれがあります。

5 ガス栓を全開にする

ガス栓を開く

●機器と接続されているガス栓を全開にしてください。

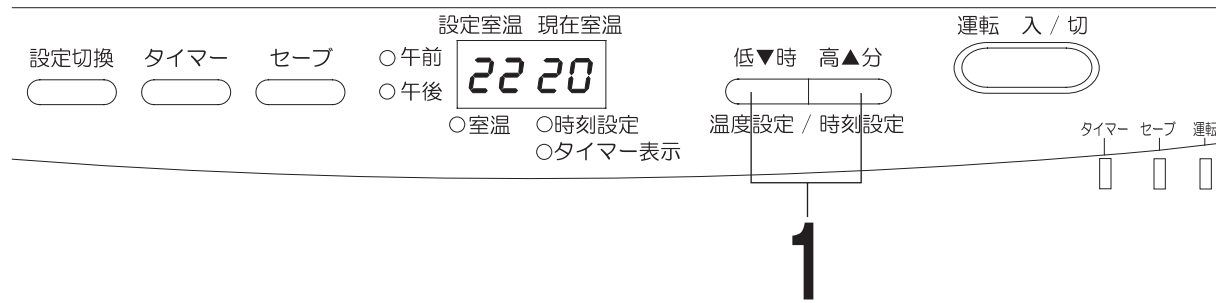
使用方法

省電力表示
運転スイッチが「切」でストーブが停止中ボタンを押さない状態が約10分続くと省電力表示になり操作部のランプが全て消灯します。この状態から操作する場合はいずれかのボタンを一度押し、表示部を点灯させたのち、各操作を行ってください。

■点火

1 運転スイッチを押して「入」にする

●運転ランプが赤色に点灯し、約5秒後にスパーク音がし、点火します。
●点火してから約30秒後に温風が出ます。

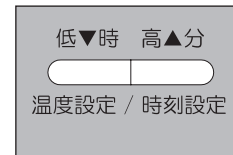
●初めてご使用になるときや、しばらく使わなかったときには配管内に空気があるため1回の操作で点火しない場合があります。
●スパーク音がして1回で点火しなかった場合は、その後3回点火動作を行いますが、それでも点火しないときには、デジタル表示部に E-11 のチェックモードを点滅させて自動的に運転を停止します。そのようなときは、運転スイッチをいったん「切」にしストーブが停止したのち点検し、運転スイッチを「入」にしてください。
●運転スイッチを押して「入」にし、E-90 のチェックモードが表示された場合は、排気管の接続が不十分であったり、排気管抜け検知リード線が正しく接続されていないためです。そのようなときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
●電源プラグを抜いている状態から差し込んだ場合、運転スイッチを「入」にしたとき E-00 が表示点滅することがあります。そのようなときは、運転スイッチをいったん「切」にし、再度運転スイッチを「入」にしてください。

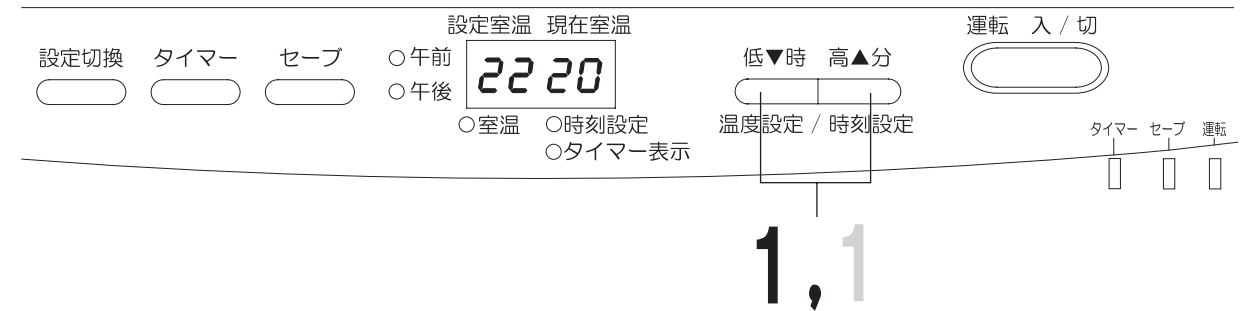
使用方法

■火力調節

●セットした温度になるように、火力を自動調節します。

1 温度設定ボタンの「高」「低」ボタンを押し、お好みの室温を設定する

※室温ランプが点灯していないと室温設定ができません。「設定切換」ボタンを押して室温ランプを点灯させてください。

●温度設定ボタンの「高」または「低」ボタンを押すと1℃づつ変化します。
●設定室温の数字は室温のめやすです。設置条件によっては必ずしも室温と一致しません。
●初期設定値は「22」℃にセットされています。
●室温設定範囲
「Ｌｏ」「16」～「30」℃　「Ｈｉ」

●温度調節がうまく行われないときは、室温サーミスタを適当な場所に移動してください。

使用方法

■固定運転

●火力を自動的に調節せずに、微小（最小）又は最大火力で燃焼しつづけます。

1 温度設定ボタンを押し続ける

※室温ランプが点灯していないと室温設定ができません。「設定切換」ボタンを押して室温ランプを点灯させてください。

［微小固定運転］の場合

●温度設定ボタンの「低」ボタンを押すと、「16」℃の後に「Lo」が表示されて微小運転に入ります。

［最大固定運転］の場合

●温度設定ボタンの「高」ボタンを押すと、「30」℃の後に「Hi」が表示されて最大運転に入ります。

［微小固定運転］の場合

［最大固定運転］の場合

■固定運転の解除

1 温度設定ボタンを押し、お好みの設定をする

※室温ランプが点灯していないと室温設定ができません。「設定切換」ボタンを押して室温ランプを点灯させてください。

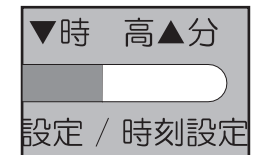
［微小固定運転］の場合

●温度設定ボタンの「高」ボタンを押し、お好みの温度に設定してください。

［最大固定運転］の場合

●温度設定ボタンの「低」ボタンを押し、お好みの温度に設定してください。

［微小固定運転］の場合

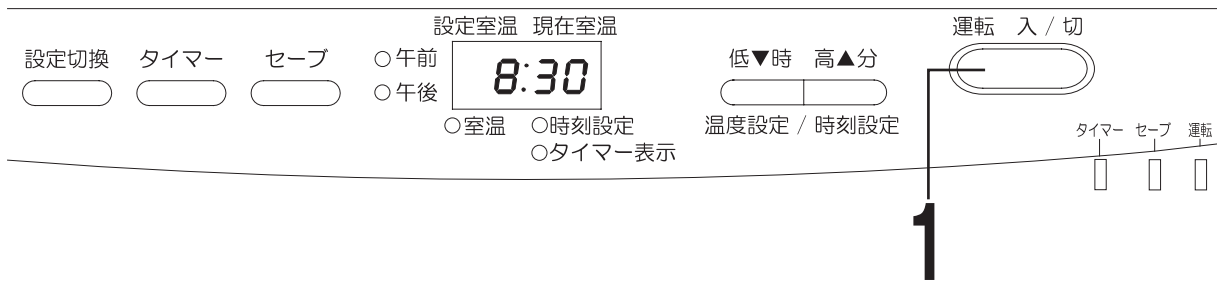
▼時 高▲分
設定／時刻設定

［最大固定運転］の場合

●固定運転にすると、セーブ運転はできません。（セーブ運転については22ページ参照）設定されていたセーブ運転は解除されます。

使用方法

使用方法

設定室温　現在室温
設定切換　タイマー　セーブ　○午前 ○午後　8:30　○室温　○時刻設定　○タイマー表示
低▼時　高▲分　温度設定 / 時刻設定
運転　入 / 切
タイマー　セーブ　運転
1

■消火

1 運転スイッチを再度押し「切」にする

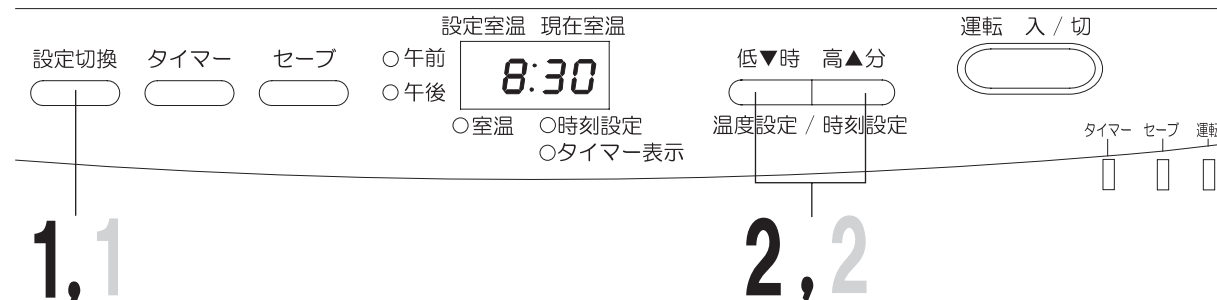
●運転ランプが消灯します。

2 消火を確認する

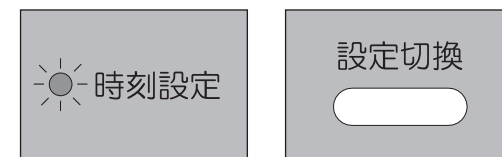
●消火後、ストーブが冷えるまで対流ファンが数分間回り続けます。

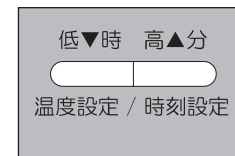
ご注意

●電源プラグは対流用ファンが停止してから抜いてください。
●運転中、電源プラグをコンセントから抜いたりガス栓を閉めたりして、運転を停止しないでください。
ストーブが過熱するなど、故障の原因になります。
●お出かけになるときは必ず消火してください。
運転スイッチを「切」にしてください。

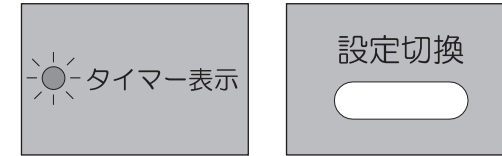
使用方法

■時刻合せ

●はじめて使用するときや停電後、表示が[- - : - -]になっている場合には、時刻合せを行ってください。
●停止中でも運転中でも合せることができます。

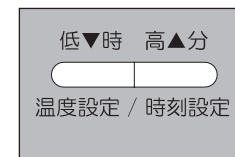
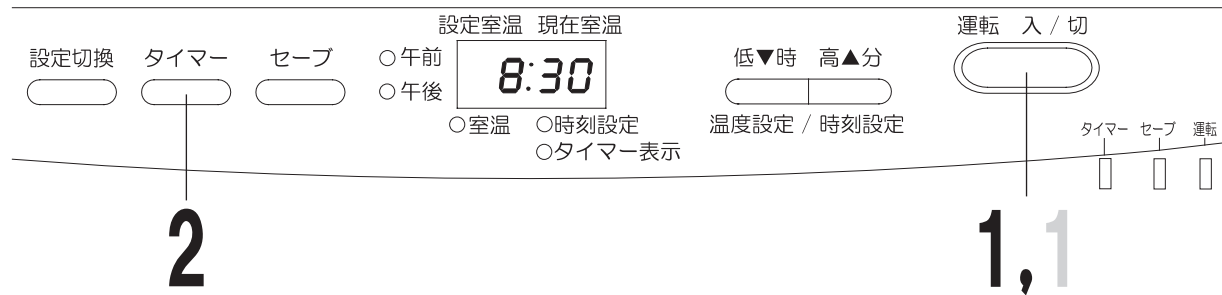
1 設定切換ボタンを押して時刻設定ランプを点灯させる

2 時刻設定の「時」「分」ボタンを押す

●ボタンを押しつづけると早送りになります。

■タイマー運転　タイマー時刻合せ

●おめざめ前の寒い朝などお好みの時刻に運転を開始します。
●停止中でも運転中でも合せることができます。

1 設定切換ボタンを押してタイマー表示ランプを点灯させる

2 時刻設定の「時」「分」ボタンを押す

●ボタンを押しつづけると早送りになります。
●分は5分きざみで動きます。
●タイマー時刻合せは一度セットすると記憶されますので、次からセットする必要はありません。

使
用
方
法

使用方法

■タイマー運転 タイマー運転のセット

1 運転スイッチを押して、「入」にする

- ●運転ランプが点灯します。
- ●燃焼中にセットする場合、運転スイッチを「入」にする必要はありません。

2 タイマーボタンを押す

- ●タイマーランプが点灯します。
- ●約5秒間デジタル表示部にタイマー時刻を表示します。
- ●最大固定運転[Hi]は[30]℃の自動調節になります。
- ●タイマー運転をセットすると消火します。

3 お好みの運転を予約する

- ●セーブ運転の予約ができます。
- ●セーブランプは現在室温と設定室温によって点灯または点滅します。

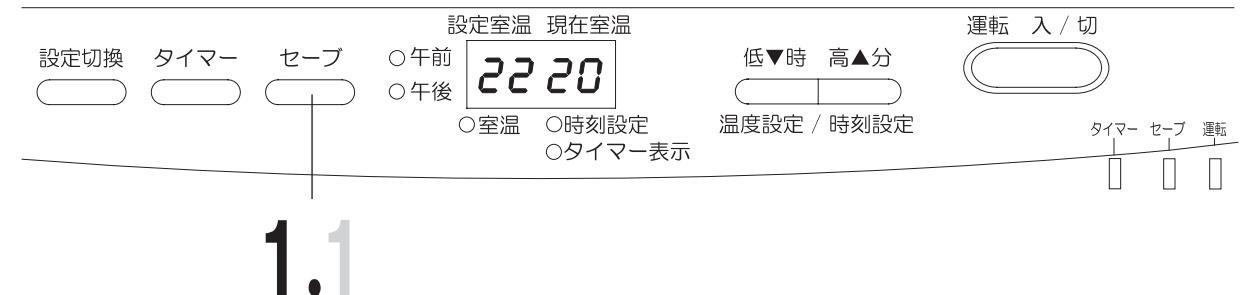
■タイマー運転の解除

1 運転スイッチを再度押し、「切」にする

- ●タイマー時刻前に点火する場合は、再度タイマーボタンを押して、タイマー運転を解除します。

ご注意

- ●時刻合せしていないとタイマー運転はできません。先に時刻合せを行ってください。(20ページ参照)
- ●タイマー点火する場合は、周囲に可燃物があったり、その他危険な状態のないことを確認してください。
- ●おでかけのときはタイマー運転をセットしないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。

使用方法

■セーブ運転

●比較的暖い時期の場合など、設定温度より室温が上がりすぎるときにご使用ください。燃焼・消火をくりかえし、室温を調節します。

1 セーブボタンを押す

- ●セーブランプが点灯し、セーブ運転を開始します。
- ●室温が設定室温より約2℃上昇したときは、セーブランプが点滅となり、この状態が約2分間つづくと消火になります。再点火は室温が設定温度に下がったとき、セーブランプが点滅から点灯に変わり、点火になります。
- ●セーブ運転は燃焼・消火をくりかえしますので室温の変動が大きくなる場合があります。

■セーブ運転の解除

1 セーブボタンを再度押す

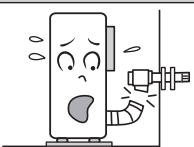
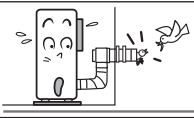
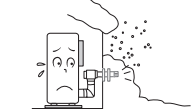
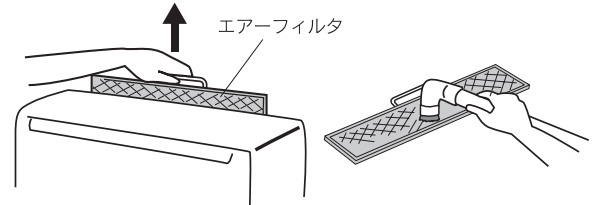
- ●セーブランプが消灯し、セーブ運転を解除します。

- ●受付音の「ピッ」音を消す場合は、運転スイッチが「切」の状態で「低」ボタンと「高」ボタンを同時に4秒以上押してください。「ピッ」音を消音します。もう一度操作すると、「ピッ」音が発するようになります。

安全装置

●異常が生じたとき、自動的に消火する装置です。

安全装置が作動した場合、運転スイッチを「切」にし、ストーブが冷えてから下記の処置をしてください。

安全装置のなまえ ●作動の原因	チェックモード	処置の方法
転倒時ガス遮断装置 ●転倒したとき ●強い振動や衝撃を受けたとき ●地震(震度5程度以上)のとき	E-22	ストーブの周囲や排気管の外れやゆるみ、ガス漏れなどの異常がないことを確認し再点火操作してください。
停電安全装置 ●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき	E-00	通電後、再点火操作してください。
過熱防止装置 ●エアーフィルタにほこりがたまったり、エアーフィルタがカーテン等でおおわれたとき ●温風吹出口の前方が障害物でおおわれているとき	E-14	エアーフィルタの掃除や障害物などの原因を取り除いてから再点火操作してください。
立消え安全装置 ●不着火 点火しなかったとき ●途中消火 運転中消火したとき	E-11 E-12	ガス栓が開き足りないか、閉っていないか確認し、再点火操作してください。 再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店にご連絡ください。
排気閉そく安全装置 ●給排気筒トップの先端がふさがれている ●強い風が吹いたとき	E-21	給排気筒トップの先端が、雪やビニール袋などでふさがれていないか点検後、再点火操作してください。
排気管抜け検知装置 ●排気管接続部の外れ ●排気管抜け検知リード線が外れたり断線したとき	E-90	修理が必要です。お買い求めの販売店にご連絡ください。
過電流保護装置 ●過電流が流れ、ヒューズが切れたとき	表示なし	停止中であれば、省電力表示になっていないか確認してください。 (16ページ参照) それでも表示されない場合は修理が必要です。お買い求めの販売店にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

■点検・手入れの時の注意

●安全にお使いいただけるよう点検とお手入れは定期的に行ってください。

必ず運転スイッチを「切」にして、ストーブが冷えてから下記の処置をしてください。

■点検・手入れの必要項目、時期、方法

時期	点検・手入れ項目	方法
シーズンはじめ	**給気ホース(給気管)排気管**	●給気ホース(給気管)・排気管の接続箇所が外れていないか点検します。 ●給気ホースが排気管にあたっていないか点検します。
	給排気筒トップ	●室外の給排気筒トップが鳥の巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。
	電源プラグ	●電源プラグにほこりがついていないか点検します。
使用ごと	**周囲の可燃物・引火物**	●ストーブの上や周囲・給排気筒トップの周囲に可燃物、引火物がないか点検します。
	排ガスの漏れ	●排ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。排ガスが漏れていますと危険です。
	給排気筒トップ	●給排気筒トップが雪や氷でふさがれていないか点検します。ふさがれていると異常燃焼することがあり危険です。
週に1回以上	**エアーフィルタ**	●ストーブ背面のエアーフィルタは取り外すことができます。エアーフィルタについたほこりを掃除機などで取り除きます。 ●掃除が終わりましたら、エアーフィルタを取り付けてください。 (図:エアーフィルタ)
	ストーブ外観 安全のため、電源プラグをコンセントより抜いてから行ってください。	●ストーブ・置台などのほこりや汚れは、乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。 ●シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。

定期点検

●この機器は使用される場所や条件また、使用時間により消耗・劣化する部品がありますので専門のサービス員による定期点検をおすすめします。

■定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検をおすすめします。
ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の定期点検をおすすめします。お買い求めになった販売店にご相談ください。

定期点検の内容

専門のサービス員が機器の性能・機能について正常であるかを診断し、必要に応じて修理作業・簡単な清掃を行います。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検・診断するものです。

お申し込み先

お客さま→お買い求めになった販売店

定期点検の費用

定期点検の費用はお客様のご負担になります。
定期点検の結果、部品交換及び修理等が必要な場合は、処置内容及び費用についてお客様にご相談のうえ、実施するか否かを決定します。

故障・異常の見分け方と処置方法

●故障かな？と思ってもよく調べてみると故障でない場合があります。
次のような場合は故障ではありません

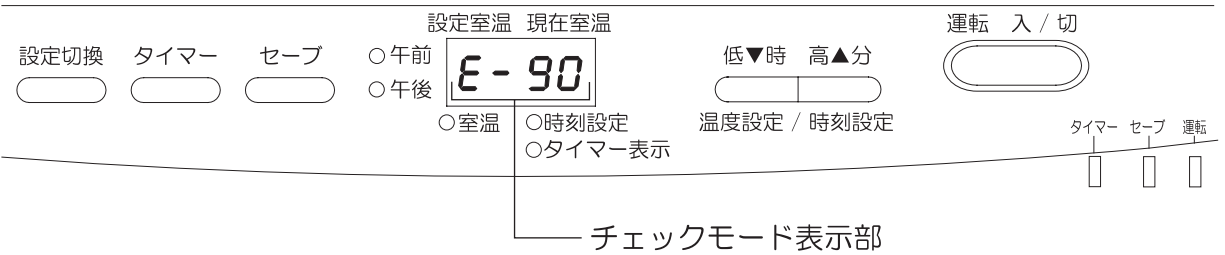
	現　象	方　法
点火時・消火時	初めて使用するときやシーズン始めに、煙やにおいがでる	耐熱塗料やほこりが焼けるためです。異常ではありません。
	点火したときや、消火した後に「コツンコツン」と音がする	ガス通路を開閉するための電磁弁(電気で開閉するガス弁)が作動するときの音です。異常ではありません。
	点火したとき、「ポン」という音がする	点火音で異常ではありません。
	「ピチピチ」や「カンカン」という音がする	本体内部の過熱・冷却時に出る金属の膨張・収縮音です。異常ではありません。
燃焼時	運転してもすぐに温風が出てこない	冷風をださないようにしてあり、機器内が暖まると、自動的に温風がでます。
	運転中に「シャー」という音がする	ガスの通過音がする場合があります。
	停止してもすぐに温風が止まらない	対流ファンが機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
	間違って電源プラグを抜いてしまったために、すぐに差し込んで運転操作したが点火しない	対流ファンが機器内部を冷やしてから止まります。数分待ってから、再度運転操作をしてください。

故障・異常の見分け方と処置方法

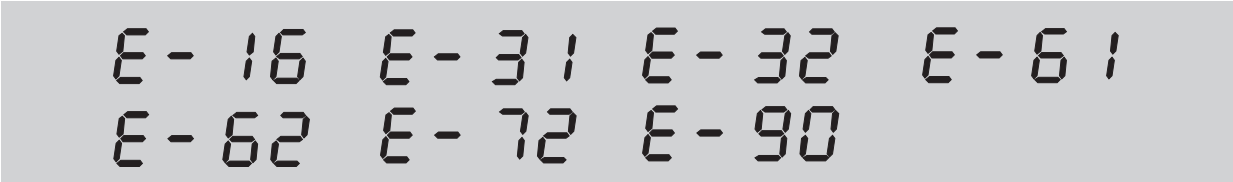
●異常が生じた場合は下表を参照して、お客さまご自身で処置してください。

原因 ＼ 現象	運転ランプが点灯しない	点火しない	炎が立ち上がる	デジタル表示部に表示されたチェックモード 表示なし	E-00	E-11 E-12	E-22	E-14	E-21	処置	参照ページ
電源プラグがコンセントから抜けている	●			●						電源プラグをコンセントに確実に差し込む	15
省電力表示になっている	●			●						運転スイッチ以外のボタンを押す	16
ガス栓が閉じている		●				●				ガス栓を開く	15
ガス栓が開ききっていない		●				●				ガス栓を開く	15
停電があった					●					運転スイッチを押しなおす	23
エアーフィルタにほこりがたまっている								●		掃除する	23 24
エアーフィルタがカーテンでふさがっている								●		カーテンを取り除く	23
温風吹出口前方が障害物でおおわれている								●		障害物を取り除く	23
給排気筒トップの先端がふさがれている			●			●			●	給排気筒トップ先端のしゃ閉物を取り除く	24
地震や強い衝撃があった							●			機器周囲、給排気筒を点検する	23 24
強い風が吹いた									●	給排気筒を点検する	23

以上の方法で点検し、処置しても直らないときは、使用を中止しお買い求めの販売店にご相談ください。
修理をお申しつけのときには故障内容をできるだけ詳しく、また表示部に表示されているチェックモードをご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

チェックモードに下記のような表示が出たときは、お買い求めの販売店へご連絡ください。

E-16　E-31　E-32　E-61
E-62　E-72　E-90

点検・その他

故障・異常の見分け方と処置方法

このような現象のときは使用を中止し、販売店にご連絡ください

●使用される場所や条件又は長時間の使用により、下記のような現象が見られる場合には使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼してください。

排ガスのにおいがしたり、目がチカチカする

●排ガスが漏れているおそれがあります。
排ガスが室内に漏れていますと、危険です。

点火・燃焼・消火するときに「ボン」という大きな音がした

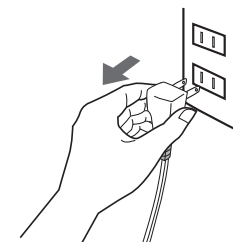
●ストーブが損傷したり、パッキンが飛散しているおそれがあります

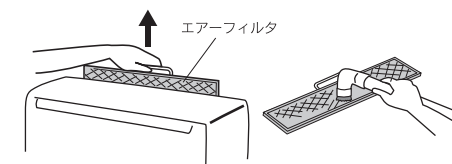
ボン！

保管（長期使用しない場合）

●長時間使用しないとき（シーズン終了時）は、次の要領でお手入れしてください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

●ぬれた手で触らないでください。
感電のおそれがあります。

2 ストーブの外観・エアーフィルタの掃除をする

（24ページ参照）

3 ガス栓を閉じる

4 ストーブは設置したまま保管する

●やむなく、取り外して収納する場合は、お買い求めの販売店へ作業を依頼してください。
（有料）

●お客さまご自身で移動したり、設置したりしないでください。

仕様

製品名		FFR-6007G	FFR-6007G-P
型式の呼び		FFR-6007G	FFR-6007G-P
種類	燃焼方式	強制燃焼式	
	給排気方式	密閉式	
	放熱方式	強制対流式	
点火方式		連続放電点火	
暖房出力		6.02kW (5180kcal/h)	
暖房の目安	木造	温暖地：26.5㎡(16畳) 寒冷地：26.5㎡(16畳)	
	コンクリート	温暖地：34.5㎡(21畳) 寒冷地：41.5㎡(25畳)	
外形寸法		高さ610mm×幅680mm×奥行き258mm	
質量		29kg	
電源電圧及び周波数		AC100V 50/60Hz	
電源コード長さ		約2m	
定格消費電力	燃焼時	38W/38W	38W/38W
	待機時	0.6W/0.6W	0.6W/0.6W
給排気筒の呼び径		D40	
給排気筒径		60mm	
給排気筒の壁貫通部の口径		80～85mm	
延長の最大長さ		4m3曲がり	
排気温度		260℃以下	
安全装置		立消え安全装置、停電安全装置、転倒時ガス遮断装置	
		排気管抜け検知装置	
		過熱防止装置(サーモスタット)	
		排気閉そく安全装置(風圧スイッチ)	
		過電流保護装置(電流ヒューズ)	
附属品		ワイヤーバンド(1)、ストッパーリング(1)、断熱カバー(1)	
		壁固定金具(2)、ねじ4×10(2)、ねじ4×25(2)	
		取扱説明書(1)、設置工事説明書(1)、保証書(1)	

型式の呼び	使用ガス 使用ガスグループ	1時間当たりの ガス消費量	ガス接続
FFR-6007G	13A	7.30kW (6280kcal/h)	TU1/2 オネジ 強化ガスホース接続
FFR-6007G-P	LPガス		

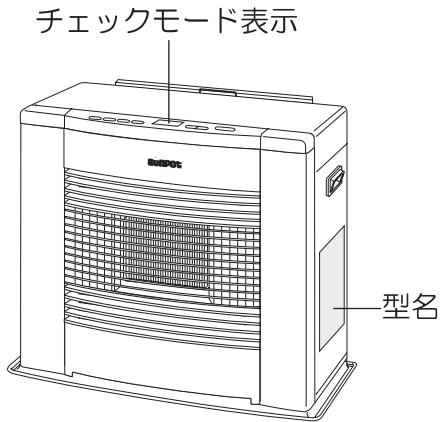
アフターサービス

■保証書について

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
●保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■修理を依頼するときについて

「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って点検してください。処置しても直らないときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご連絡ください。
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理いたします。

ご連絡していただきたいこと	
ご住所	
お名前	
電話番号	
製品名	
型名	FFR-6007G FFR-6007G-P
お買い上げ日	年　月　日
故障又は異常の内容	できるだけ詳しく(表示部のチェックモード数字など)お知らせください。
訪問ご希望日	

●保証期間が過ぎているときは、販売店にご相談ください。
　修理によって使用できる場合は、希望により有料修理したします。
●修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
●ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■転居・移動について

●ガスや電源の種類は地域によって異なり、そのままご使用できない場合があります。
　転居先のガスや電源をご確認のうえ、もよりのガス事業者にご相談ください。
●機器の設置場所を変更されるときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。

■補修用性能部品の保有期間について

●この機器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後7年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

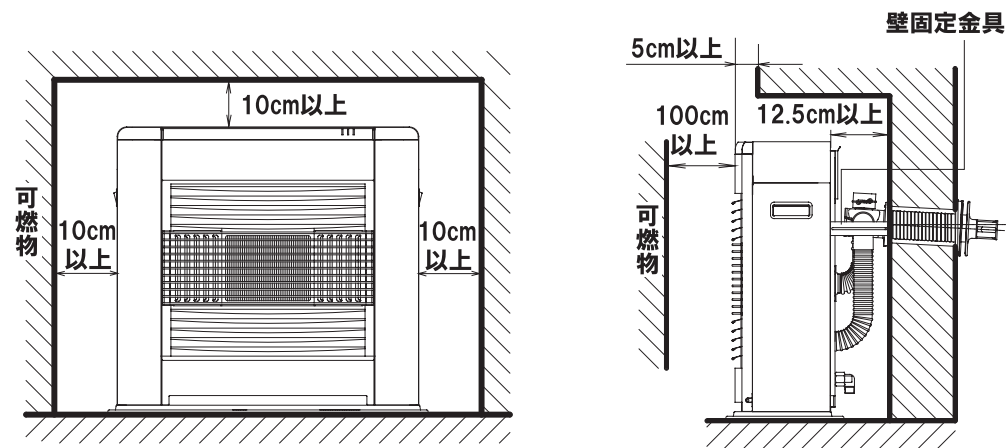
据付け

■設置工事は販売店に依頼する

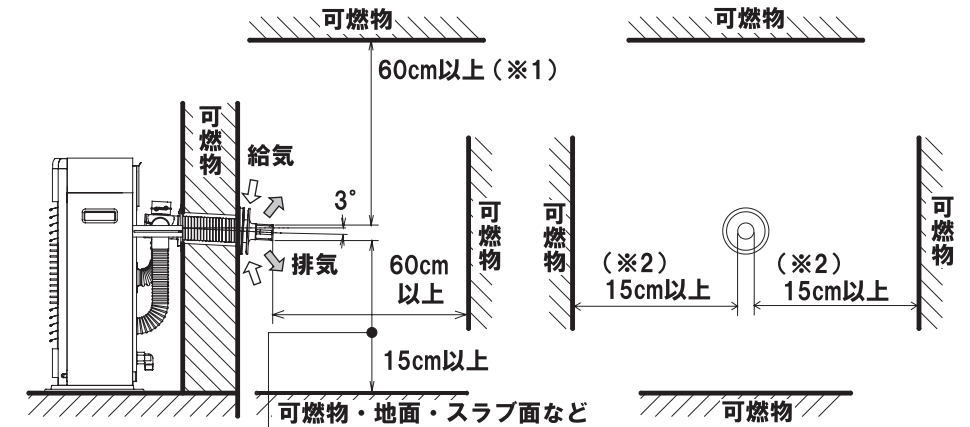
設置工事や移動工事は販売店又は据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

■据付け場所の選定及び標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
設置工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり販売店又は据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、下図を参照してください。

【ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離】

●ストーブが囲われる場所に設置する場合の内部やその周辺は、できるだけ不燃材料又は準不燃材料あるいは防熱板で仕上げを行ってください。また、ストーブは必ず壁面より5cm以上手前に出してください。

据付け

【給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離】

注(※1)
60cm以上の寸法は、不燃材を使用する場合は30cm以上とする。
注(※2)
防火上、必要な可燃物との離隔距離は15cm以上ですが、燃焼排ガスの滞留をさける為、45cm以上離すことを推奨します。

●給排気筒トップは上方及び両側に気流を阻止する障害がないこと。
●雪の多い地方では最高積雪面より50cm以上離れる場所に、給排気筒を取付けてください。
●図では可燃物までの離隔距離を示していますが、性能維持のため、不燃物などの場合も上図離隔距離としてください。
(※1部は除く)

■給排気筒を延長する場合の注意

給排気筒を延長する場合は、4m3曲がり以下で取り付けられる場所を選定してください。

据付け

■積雪地区における注意

積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取付場所を設定してください。また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

■据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、設置工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、設置工事説明書に記載されているとおり据付けられているかどうかを確認してください。

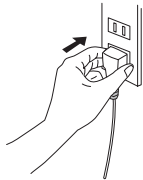
●給排気筒を延長して設置している場合、延長長さは4m以下、曲がりは3箇所以下としてください。

試運転

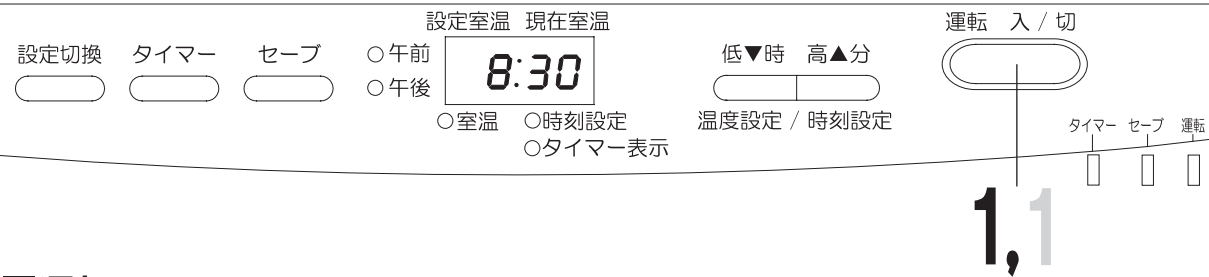
試運転は、販売店又は専門業者と一緒に必ず行ってください。

■運転準備

1 電源コード及び電源プラグの確認

●電源プラグをコンセントに差し込み接続してください。

2 ガス栓を全開にする

●機器と接続されているガス栓を全開にしてください。

設定室温 現在室温
設定切換 タイマー セーブ ○午前 ○午後 8:30 低▼時 高▲分 運転 入/切
○室温 ○時刻設定 ○タイマー表示 温度設定/時刻設定 タイマー セーブ 運転
1, 1

■運転

1 運転スイッチを押して「入」にする

●運転ランプが赤色に点灯し、約5秒後にスパーク音がし、点火します。
●点火してから約30秒後に温風が出ます。

■消火

1 運転スイッチを再度押し「切」にする

●運転ランプが消灯します。
●消火後、ストーブが冷えるまで対流ファンが数分間回り続けます。

正常燃焼の目安
●正常燃焼の目安として29ページのような現象がないことを確認します

●ストーブより煙やにおいが出ることがありますが、燃焼室の塗装やパッキン類が焼けるためで異常ではありません。数分で消えますので、部屋の換気をしながら試運転してください。

サンポット株式会社

お客様相談窓口〔受付時間：平日午前９時～午後５時まで〕
TEL. 0198-37-1177　FAX. 0198-37-1192

札幌支店	〒060-0042	札幌市東区本町2条10丁目1番25号	TEL.011-785-1211	FAX.011-782-8262
釧路営業所	〒085-0051	釧路市光陽町8番1号	TEL.0154-22-5821	FAX.0154-32-2289
帯広営業所	〒080-0801	帯広市東1条南25丁目12番地	TEL.0155-22-1335	FAX.0155-28-2266
旭川営業所	〒078-8237	旭川市豊岡7条6丁目6番10号	TEL.0166-34-8636	FAX.0166-39-2157
函館営業所	〒041-0851	函館市本通4丁目17番25号	TEL.0138-53-2583	FAX.0138-33-2180
仙台営業所	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町4丁目2番40号	TEL.022-236-3444	FAX.022-238-9416
郡山営業所	〒963-8041	郡山市富田町字音路1番地109	TEL.024-962-9288	FAX.024-962-9266
青森営業所	〒030-0131	青森市問屋町2丁目18番18号	TEL.017-738-4141	FAX.017-738-5354
秋田営業所	〒010-0914	秋田市保戸野千代田町15番17号	TEL.018-824-3421	FAX.018-824-3423
岩手営業所	〒025-0301	花巻市北湯口第2地割1番地26	TEL.0198-37-1138	FAX.0198-37-1188
首都圏営業所	〒352-0001	新座市東北2丁目24番3号	TEL.048-471-8420	FAX.048-470-1141
信越営業所	〒381-0031	長野市大字西尾張部1114番地5	TEL.026-252-6161	FAX.026-252-6162
北関東営業所	〒321-0942	宇都宮市峰2丁目5番9号	TEL.028-635-7755	FAX.028-651-2255
大阪営業所	〒564-0053	吹田市江の木町18-27	TEL.06-6337-3211	FAX.06-6337-3212
富山営業所	〒939-8212	富山市掛尾町479番地4	TEL.076-420-2677	FAX.076-420-2238

サンポットエンジニアリング株式会社

サービス部	〒065-0042	札幌市東区本町2条10丁目1番25号	TEL.011-785-1201	FAX.011-780-2338
仙台ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町4丁目2番40号	TEL.022-232-1479	FAX.022-238-9843

サンポットホームページ　http://www.sunpot.co.jp/

事務所名・住所・電話番号は変更することがあります。あらかじめご了承願います。

ご購入(据付)年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL

お客様へ・・・おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

32400026200B
9540